

# 子どもにも大人にも必要な B型肝炎ワクチン

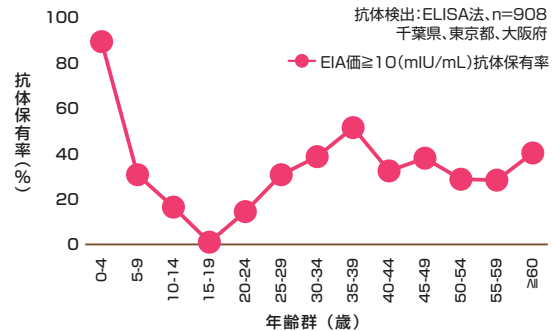


監修: 乾 あやの 先生 (済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 部長)



0~4歳はB型肝炎ワクチンの定期接種により抗体を獲得した年代、5~9歳は任意接種した年代、15~19歳はウイルス感染既往やワクチン接種歴がない年代と考えられます。いったんB型肝炎ウイルスに感染すると、ウイルスを身体から完全に排除することは困難なので、感染予防は重要です。

年齢群別のHBs抗体保有率 (2019年)<sup>1)</sup>



1. 国立感染症研究所: 令和元年度(2019年度)感染症流行予測調査報告書より作成。  
<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/yosoku/AnnReport/2019/09.pdf>

定期接種(0歳児)以外にも、感染リスクに応じたワクチン接種が必要です!

## 0歳児

2016年10月にB型肝炎ワクチンは定期接種となり、0歳児に3回接種されています。また、母親がB型肝炎ウイルスキャリアの場合には健康保険で母子感染防止対策が実施されます。

## 思春期

近年、20~30代を中心に欧米型ウイルス感染の増加が報告されています<sup>2)</sup>。その対策として、思春期世代へのワクチン接種(キャッチアップ接種)が必要と考えられています<sup>2)</sup>。

## 医療関係者

医療関係者の方は患者さんや、患者さんの血液や体液に触れる可能性が高くB型肝炎ウイルス感染のハイリスク者なので、予めB型肝炎ワクチンを接種しておくことが大切です。

## 保育施設職員

『保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版)』では、お子さんだけでなく施設に勤める職員の方もB型肝炎ワクチンの接種を受けておくことが大切とされています。

## 透析患者等

透析患者さんや、HIV感染者、その他の免疫不全患者さんは、B型肝炎ウイルス感染のハイリスク者としてB型肝炎ワクチンの接種が推奨されます。

## 海外渡航者

B型肝炎ウイルスへの感染リスクが高い地域に渡航される方は、渡航前にB型肝炎ワクチン接種を完了させましょう。詳しくは専門医とご相談ください。

2. 厚生労働省: 厚生科学審議会 感染症分科会 予防接種部会 ワクチン評価に関する小委員会 B型肝炎ワクチン作業チーム報告書。  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000014wdd-att/2r98520000016rr1.pdf>

製造販売元

**KMバイオロジクス株式会社**  
 熊本県熊本市北区大窪1-6-1

販売元

**Meiji Seika ファルマ株式会社**  
 東京都中央区京橋2-4-16



KMバイオロジクス株式会社

本紙はダウンロードしてご活用いただけます

KMバイオロジクス株式会社

ワクチンお役立ち資料



作成: 2021.6